

お雛様で季節感を 折り紙教室好評 参加者も増える

北区会が認知症講座の一環として毎月実施している折り紙教室はすでに12回を数え、新しいファンも徐々に増えています。講師の折り紙悠々代表・榊田みどりさんも「皆さんだんだん慣れてきてうまくなってきました。これからも折り紙に親しんでください」とエールをおくって下さっています。

【第11回教室】11回目の折紙教室は1月31日、KSC 1・2教室で開かれ、16人が参加しました。講師は榊田みどりさんと榊田まどかさん。この日は、雛祭りにちなんで雛飾りにチャレンジ。ペアで作った雛を色紙に貼っ



て出来上がりですが、全員が完成しました。次に、むずかしい広島鶴に三たび挑戦しましたが、多くの方は未完成に終わりました。

講師からは「お雛様色紙は皆さん完成です。めでたしめでたしです。広島鶴は鶴の中でも最難関です。折り方の基本を何度も練習し、反復することが大切です」との話がありました。

【第12回教室】12回目の折り紙教室は2月28日、KSC1・2教室で開かれ19人の参加がありました。講師は引き続き榊田みどりさん。この日は、広島鶴に再チャレンジしたほか、双子鶴、万華鏡、パンダ帽子、鳩の4アイテムを作りましたが、いくつかは時間切れ。講師からは「できなかった分は自宅で反復練習してください」とアドバイスがありました。

【第13回】3月は折り紙教室は休みのため、第13回



▲和気あいあいと作品作りを楽しむ参加者



お雛様の色紙①と②から 万華鏡、パンダ、双子鶴

分は宿題として作品名だけをお知らせします。淡路委員の提案によるもので次の7作品です。①亀鶴②鶴の輪③パタパタ鶴④鳩のモビール⑤お喋りカラス⑥水を飲む鶴⑦鳳凰の鶴。ご自分でいろいろ考えてチャレンジしてみましょう。

▲第14回折り紙教室は5月2日(水)です。

折り紙作品を展示・即売 〈わ〉の総会に合わせて

北区会は5月26日のNPO法人グループ〈わ〉定期総会第2部として、折り紙の展示発表会と即売会を実施することになりました。これまで1年間にわたって開催してきた折り紙教室の成果を見ていただくよう計画したもので、3月7日と28日に打ち合わせ会を開き、概要を決めました。

▽実施日 5月26日(土) ふれあいホールで。

▽折り紙チームの榊田講師と教室参加者全員の作品約100点を展示。

▽展示内容 榊田講師の鶴の折り紙シリーズ。教室参加者の鶴やパンダ、ひな祭りなど、四季の行事表現した作品。その他万華鏡、モビール、ぼんぼりなど自由作品。

▽色紙に貼った雛まつりなどは、一部即売。

▽問い合わせは道満会長(090-8237-1402)まで。

グループ〈わ〉総会第2部は北区会のほか、銭太鼓や手話ソング、民謡などのパフォーマンス、茶道の出店もあります。

型破りの演奏 意外な人気

ポラン
ティア
交流記

神戸弘陵高校 マーチングバンド部

耳をつんざく音色が校舎に轟く。19人が力いっぱい楽器を鳴らし、叩き、爆発する練習風景に、ただ、ただ圧倒されるばかりだった。2018年2月末、ユニークなバンド活動で知られる神戸弘陵学園高校マーチングバンド部を訪ねた。

かつては4、50人いた部員も今や20人ちょっと。これでは全国コンクールに出ても上位は狙えないと、顧問の福本浩也先生が考えたのがパフォーマンスを採り入れた自由で面白い演奏。ドラム缶を叩いたり、サイレンを鳴らしたり、女子はウィッグを被ってセーラームーンを演じたり。これが当たって、全国高校総合文化祭（2017年・仙台）では実行委員会特別賞を貰うまでになった。マスコミへの露出も急に増えたという。

部長の前川拓君、副部長の吉畑昭拓君（共に2年）によると、日頃の練習は授業後2時間。土曜日は朝から午後まで。夏も冬も戸外でやるのが原則で夏は日焼けで真っ黒になる。

部員は、中学校でブラスバンドをやっていた生徒が多く、1年経てば一人前になるとか。楽器はトランペット・トロンボーン・サクソ・ホルンなど十数種類。好きな楽器を使えるが掛け持ちで演奏する



前川君と吉畑君



2017年4月29日のイベント「GW LIVE」で（同校提供）

ことも多い。

▲放課後の練習風景

レパートリーは20～30曲。ジャズや美空ひばり、青江三奈、スマップ、AKB48、乃木坂…すべて福本先生がアレンジ、編曲してパート譜を作成する。構成やパフォーマンスも先生が考える。身振り、手ぶり、全身を使っての指導ぶりはとてもエネルギッシュで真剣だ。客の喜ぶ笑顔が見たい――をモットーに練習でも本番並みの厳しさが要求される。

公演舞台は神戸まつり、きたきた祭り、フルーツフラワーパーク、岡場のエコールリラ、神戸特別支援学校、光風病院、北警察署、近くの小中学校、地元自治会。公演先では熊本地震などの災害募金、盲導犬協会の募金にも協力する。

2人に「福本先生に言いたいことは？」と聞いてみた。「いつまでも健康で、ぼくたちを指導してほしい」と泣かせる言葉が返ってきた。慕われているんやなあ、福本先生は。「卒業後もバンドをやるの？」と聞くと、吉畑君は「これからも音楽を続けたいです」ときっぱり。前川君は「ひと区切りつけたい」との返事だった。

弘陵高は、サッカーや女子野球、バレーボールも強く、地元の住民にとっては地域の誇りでもある。「地域に開く」という校是もあり、日常の挨拶にも力を入れている。帰途、わずかな時間に部活中の女生徒5人から「こんにちは！」「こんにちは！」と大きな声をかけられた。とてもさわやかな気分で校門を後にした。（取材 北区会・南形徹）

▽神戸弘陵学園高校 1983年に男子校として北区山田町小部妙賀山に設立され2014年から共学に。特進文理・総合進学・体育特選・総合教育の4コースがあり生徒数は650人。神鉄北鈴蘭台駅から徒歩15分。（HPから）